

大学等との連携により、「最先端学術情報基盤(CSI)」の構築を推進しています。



次世代学術情報ネットワーク(SINET3)の構築

- 大学等の「情報ライフライン」として利用されている従来のSINETとスーパーSINETを統合し、よりアップグレードした次世代学術情報ネットワーク (SINET3) を構築し、平成19年4月から運用を開始します。
- SINET3では、最高40Gbpsの超高速ネットワーク環境に加え、Webによる動的かつ効率的な回線帯域の割り当てなど、多様なネットワークサービスを提供します。

大学等の情報システムを安全に守るUPKIの実現

- 大学等のコンピュータ資源やデータを安全・安心に共有するための利用者認証として、全国大学共同電子認証基盤 (UPKI: University Public Key Infrastructure) を構築しています。
- 平成18年度は、大学内の認証局のためのUPKI共通仕様および認証を利用したアプリケーションを開発し、公開しました。

大学の情報セキュリティポリシー策定を支援する「サンプル規定集」の公開

- 各大学が定めることになっている情報セキュリティポリシーの策定を効率的に進めるための「サンプル規定集」を作成し、公開しました。
- 今後は、政府機関統一基準に準拠した大学向けの規定を整備します。

次世代研究環境を切り開くNAREGIサイエンスグリッドの研究開発

- 文部科学省研究委託事業の「最先端・高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用プロジェクトNAREGIプログラム」において、スパコン等の計算資源を大学や国の枠を超えて効率的に利用するNAREGIミドルウェアを研究開発しています。
- 平成18年度は、そのβ版を開発し、実証実験を行いました。今後は、海外の研究機関と連携するための機能強化を図るとともに、全国共同利用情報基盤センター等と連携し、実用化を目指します。

多様な学術情報のワンストップショップ

- 平成17年4月から公開しているGeNii (NII学術コンテンツ・ポータル) の機能アップを実現しました。
- 著名なサーチエンジンや図書館の情報システムとの連携を通じて、①図書・雑誌情報 ②論文情報 ③研究成果情報 ④専門学術情報の4種の学術情報へのアクセスが、より身近なものとなりました。

学術研究に不可欠な620万論文の提供

- 国内の学協会が発行する学術雑誌および大学の研究紀要に掲載された論文を電子化し、論文コンテンツとして蓄積・提供しています (約280万論文)。
- 海外の学術出版社等が刊行する電子ジャーナルの選定的なデータを、大学図書館と共同で導入し、電子ジャーナルリポジトリ (NII-REO) を通じて契約大学に提供しています (約340万論文)。

大学図書館が所蔵する図書・雑誌の総合目録データベースの構築

- 20年以上にわたり、全国の大学図書館と共同で、図書館に所蔵されている図書や雑誌の総合目録データベースの構築を継続してきました。
- 9,200万件を超える図書・雑誌の所蔵情報が登録されており、世界有数の図書総合目録に成長しました。

大学からの情報発信を強力にサポート (機関リポジトリ構築・連携支援)

- 機関リポジトリは、大学で生み出されたさまざまな教育研究成果を収集、蓄積、配信するための「知の電子書庫」です。全国の57大学と共同で機関リポジトリの構築と連携をめざしたプロジェクトを推進中です。
- これまでに、全国の機関リポジトリに蓄積された学術コンテンツの総数は、28万件に達しており、今後も「知」のストックの拡大が期待されます。

学術情報基盤を支える人材の育成

- 450機関・1,200名に、12コース・48回の学術情報基盤に関する研修を行いました。
- いつでもどこでもWebで自習できる研修教材の作成に着手しました。

<http://csi.jp>